

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	全学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18008	1	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	社会学 (Sociology)				
担当教員名	村上 晶				
授業の概要及び到達目標					
<p>社会について考えることは、私たちの日常生活の隠れた意味や成り立ちを明らかにし、相対化していく刺激的な試みである。講義では、社会学の基本的な概念やテーマについて学び、社会学的なものを見方を養う。そして、身近な世界を社会学的視点から観察・分析することを試みる。</p>					
準備学習等					
<p>各回、授業後には授業で配布した資料を整理しながら読み返し、内容について理解を深めてくること。疑問点が新たに見つかった場合、各自で調べるか次の授業で質問するなどして解決を試みる。また、講義の内容を常に身近な体験に引きつけて考えるよう心がけてほしい</p>					
成績評価の方法	授業への積極的な参加 (50%)、期末課題 (50%)				
テキスト	特定のテキストは使用しない。資料は適宜配布する。				
参考図書	『社会学』、長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志：(有斐閣) 『よくわかる社会学』、宇都宮京子（編）：(ミネルヴァ書房) 『大学生のための社会学入門』、篠原清夫・栗田真樹（編）：(晃洋書房)				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・質問等は授業時間内および授業終了後に受け付ける。 ・第 11 回の授業内に課題の内容を知らせる。 <p>課題についての質問・相談は以降、随時受け付ける。課題の成果については第 15 回の授業のなかでフィードバックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 				

授 業 計 画

第1回:社会学とはいかなる学問か

第2回:理論家たちを知る

第3回:秩序と逸脱について

第4回:社会調査の方法

第5回:家族の社会学

第6回:日本の近代化

第7回:ジェンダーとセクシュアリティ

第8回:グローバル社会とエスニシティ

第9回:宗教の社会学

第10回:文化の変容

第11回:メディアと社会

第12回:調査のためのレッスン（「事実」をどう見るか）

第13回:調査のためのレッスン（「事実」をどう記述するか）

第14回:まとめ

第15回:課題の成果発表・ディスカッション

※受講者の習熟度に応じて内容の一部を変更する場合がある。